平成31(2019)年度　江戸川区立大杉東小学校　学校関係者評価　最終評価用報告書

学校教育目標	よりよい目標を実現する子 ☆考える子　　やさしい子　　やりぬく子 ☆は本年度の重点目標	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	・保護者、地域と共に教育活動を進める学校 ・勉強をする児童　友達と協力できる児童　丈夫な体と心をもつ児童 ・気付き、考え、実践する教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	＜成果＞・特色ある教育活動を実現することで保護者の信頼が高まった。・子供が生き生きと教育活動に取り組んだ。 ＜課題＞・児童の学力の定着という継続した課題に対する成果が上がらなかった。・授業の充実、家庭学習の定着、落ち着いた学校生活生活、基本的な生活習慣の確立を学校全体として取組むことで、学力の定着という結果に結び付けていくことが課題となる。		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		来年度に向けた改善策
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	6月公開授業を実施し、小中の教員が連携Pを授業を通して検証する・	3・・教員連携プログラム理解85%以上 2・・70%以上 1・・70%未満	3.0	2.5	・連携カリキュラムを作成できた ・連携スタンダードに取組んだ △携帯のルールの徹底	3	・4校で小中連携の取組みが共通理解の元進められた	・ゲーム・スマホ1時間以内を地域で推進したい
教員の資質向上	教員研修の充実	ICTアシスタントによる校内研修の実施によるICTを活用した教員の授業力の向上	デジタル教材をつかった外国語の授業を実施し、校内研究で検証する。年4	3・・ICTを活用した学習指導ができる 2・・ICTを使って学習指導ができる 1・・ICTを活用した学習指導ができない	2.2	2.4	・ICTが活用のための研修会ができた △授業でICTを活用できるようにする	2.5	・小学校から、ICTを活用した教育がなされていてよい	・プログラミング教育を推進していく
	特別支援教育の推進	校内委員会の活性化と指導・支援の充実	巡回指導に関する研修会を1，2学期に1回ずつ実施する	3・・巡回指導の内容が理解・連携できる 2・・巡回指導の内容が理解できる 1・・巡回指導の内容が理解できない	3.0	2.7	・研修を計画通り実施して理解を深めた △エンカレッジ体制を構築する。エンカレッジルームの活用方法を充実する	3	・学校はスタディールームやエンカレッジルームできめ細やかに対応している	・エンカレッジ体制のさらなる構築をすすめていく
いきいきと学ぶ教育の充実	確かな学力の向上	「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上	2年生以上で年間35回以上の補習を行う	3・・児童の診断テスト5Pずつ上昇達成 2・・児童の診断テスト3Pずつ上昇達成 1・・児童の診断テスト上昇なし	3.1	2.3	・補習は実施できた ・診断テストの上昇は見られた △学テの到達度は5，6年共に平均を下回った	2	・家庭でも様々な教育力をもって働きかければ子供は伸びるはず	・地域・家庭と協力し、ICTや外部人材も補習で活用していく
	読書科の更なる充実	学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習の充実	総合的な学習の時間に年間2回本を活用した探究的な学習を展開する。	3・・本をつかった2回の探究学習実施 2・・・本をつかった1回の探究学習実施 1・・実施していない	2.5	2.1	・調べる学習コンクールに全学年が参加した ・調べべ学習が進めやすい図書館の整備を行った	2.4	・図書館がきれいになっていた ・司書の配置はよかった	・調べる学習をもっと増やす ・スーパーバイザーの活用
	体力の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	体育的活動を利用した外での運動遊びを年間を通して実施した	3・・運動が楽しい85%以上 2・・70%以上 1・・70%未満	2.1	3.2	・竹馬を使った体育的活動に取組めた ・運動が楽しいと思う児童がほぼ100%である △体育授業の充実	3	・竹馬運動会はよかった ・竹馬活動を継続してほしい	・ウキウキタイム（日常的な体つくり運動）の充実を進めていく
	オリパラ教育の推進	「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組やオリパラコーナーの充実	異文化理解、共生社会の創造をのための各学年2回の体験活動の充実を図る	3・・体験型学習が各学年で2回実施できた 2・・体験型学習が各学年で1回実施でき	2.4	2.3	・竹馬活動にオリパラの考えを取り入れて実施した △オリパラコーナーの充実	3	・竹馬オリンピックは良かった。 ・TGGや落語、パラ卓球等本物に触れた	・今後も継続して取り組む
	外国語教育の推進	授業力の向上とALTの効果的な活用	中学年で35時間、高学年で70時間の担任が行う授業を実施する。	3・・外国語（活動）の指導ができる 2・・外国語（活動）にICTがうまく使えない	2.1	2.1	・外国語の授業ができるようになった △全ての教員が外国語の授業ができるようにする	2.3	・外国語を子供のころから学べるのはよいことである	・皆がT1で 外国語やプログラミングの授業ができるよう、研修をする